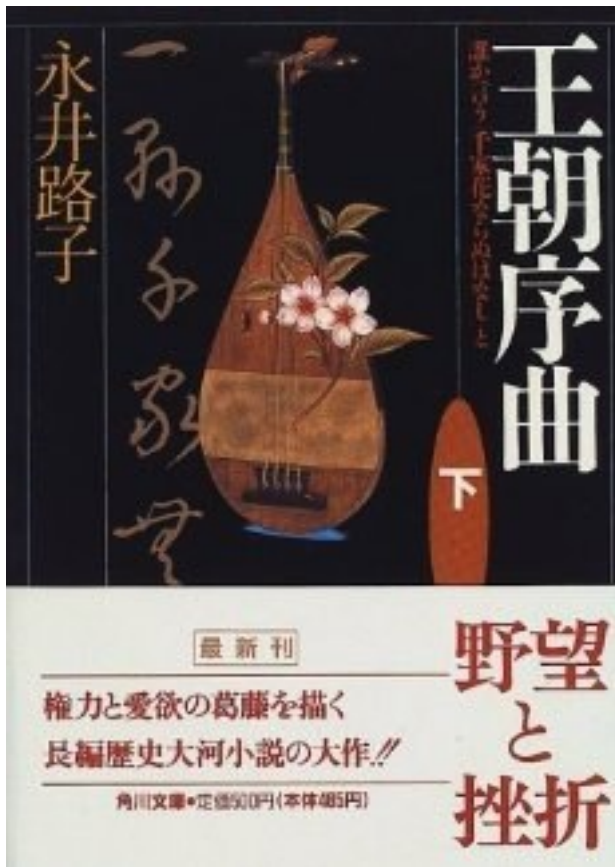


王朝序曲―誰か言う「千家花ならぬはなし」と〈下〉



[王朝序曲―誰か言う「千家花ならぬはなし」と〈下〉_下载链接1_](#)

著者:永井 路子

出版者:角川書店

出版时间:1997-2

装帧:文库

isbn:9784041372050

六十の齡に達し、病床の身にあった桓武帝は、いよいよ安殿に譲位した。平城帝が誕生し、ひとつの時代が終りを告げた。新帝は、一度は遠ざけられた藤原薬子を近任させ、薬子は宮廷での権力を強めた。出世に背を向けた冬嗣は、鷹揚な皇子・賀美能に

仕えるが、計らずも平城は、賀美能を皇太子に指名し、冬嗣もまた、政治抗争の中央へ引き出されていく…。桓武から平城、そして嵯峨へ。権力と愛欲の葛藤がくりかえされ、平和がくる。野望と挫折、長編歴史大河小説の力作。

作者介绍:

永井/路子

大正14(1925)年、東京に生れる。東京女子大学国語専攻部卒業。小学館勤務を経て文筆業に入る。昭和40年、「炎環」で第52回直木賞受賞。57年、「氷輪」で女流文学賞受賞。59年、第32回菊池寛賞受賞。63年、「雲と風と」で吉川英治文学賞受賞。平成21年、「岩倉具視」で毎日芸術賞受賞(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[王朝序曲―誰か言う「千家花ならぬはなし」と〈下〉_下载链接1_](#)

标签

永井路子

日本文学

日本历史

小说

日本平安

平安时代

评论

“序曲” 两个字用得太过切题了，意味深远。

下卷中印象比较深刻的是开篇真夏冬嗣安世三兄弟のやり取り、绪嗣の德政争论、和药子之变后真夏与冬嗣の对话。书中真夏对平城实在真爱啊…下卷几乎完全是冬嗣当主角了以至于看结局以为作为描写冬嗣一生小说的话结局太仓促，但本书标题『王朝序曲』非平安王朝而是藤原王朝の序曲，作为一个讲述藤原王朝开端の小説，结局再妙不过。P239标题回收，P277副标题回收。藤原北家の抬头，之后古老氏族の衰亡，真是「谁说千家无不花」。

[王朝序曲—誰か言う「千家花ならぬはなし」と〈下〉_下载链接1_](#)

书评

[王朝序曲—誰か言う「千家花ならぬはなし」と〈下〉_下载链接1_](#)